



ペットが出合う危険な植物

ペットは、飼い主の生活を様々なかたちで豊かにしてくれるかけがえのない存在です。そのペットが室内や外出時に出合う危険な植物があることを知っていますか？花瓶に挿していた水までもが、危険となる植物もあります。身近にある危険な植物を知ることは、大切なペットを不幸な中毒事故から未然に防ぐことにつながります。ここで紹介する以外にも中毒症状を起こす危険な植物は多いので注意が必要です。

※中毒症状が疑われる場合は、早急に動物病院に相談しましょう。

<切り花・鉢植え>



スイセン

(ヒガンバナ科)

有毒部分：鱗茎（タマネギ状の球根部分）

症状：嘔吐、下痢、胃腸炎、心不全（特に猫）



スズラン

(スズラン科)

有毒部分：全草

症状：嘔吐、下痢、腹痛、心不全



ツツジ科全般

(セイヨウツツジ、アセビ、アザレア、シャクナゲ等)

有毒部分：葉、根皮、蜜

症状：口腔の灼熱感、よだれ、嘔吐、下痢、徐脈、中枢神経の抑制、不整脈、血圧低下



オシロイバナ

(オシロイバナ科)

有毒部分：根、茎、種子

症状：皮膚や粘膜への刺激作用、嘔吐、下痢、腹痛



ポインセチア

(トウダイグサ科)

有毒部分：茎からの樹液、葉

症状：嘔吐、下痢、皮膚炎、口腔の灼熱感



クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

有毒部分：全草、特に根

症状：口腔の灼熱感、腹痛、胃炎、嘔吐、下痢、心臓麻痺、死亡



<観葉植物>



ディフェンバキア

(サトイモ科)

有毒部分：茎

症状：皮膚のかぶれ、結膜炎、口腔内の腫れ、激痛



アイビー

(ウコギ科)

有毒部分：葉、果実

症状：嘔吐、下痢、腹痛、口の渴き、よだれ、皮膚への刺激



モンステラ

(サトイモ科)

有毒部分：葉

症状：皮膚のかぶれ、口腔の灼熱感、よだれ

注) 切り花をさした水も強力な毒性があります！

<引用文献：「動物が出会う中毒～意外にたくさんある有毒植物～」公益財団法人動物臨床医学研究所>